

(令和2年11月26日：松江市説明)

11月25日に島根県が実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに県内144例目となる感染者が確認されました。

市内127例目(県内143例目)にかかわる接触者調査として、昨日25日、出雲保健所により検体が採取され、島根県保健環境科学研究所でのPCR検査の結果、陽性であることが判明いたしました。

この方は松江市在住でございます。島根県から陽性判明の連絡を受け、居住地を管轄する松江保健所による調査を実施しております。

市内127例目(県内143例目)と同じ勤務先であることから、年齢・性別につきましては、個人の特定につながる恐れがあるため非公表とさせていただきます。

現在、患者は無症状ですが、感染症対策を講じた医療機関に入院する予定です。

この後、勤務先施設を所管する島根県の多根土木部次長からご説明いただきます。

患者の行動歴調査及び濃厚接触者の調査を進めているところですが、感染可能期間における濃厚接触者は概ね特定できております。引き続き迅速な検査の実施により感染拡大の防止に努めて参りたいと考えております。

全国的には重症患者のさらなる増加などが懸念される状況にありますが、市民の皆様には、感染予防の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「マスクの着用」「手洗い」のほか、「3密の回避」、「換気」などの感染対策に、より一層お取り組みいただきますようお願いいたします。

いつも申し上げますが、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。感染への不安から、偏見や差別、誹謗中傷などにより、患者やその関係者を傷つけたりすることなく、励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますようお願いいたします。